

あわくら会館（役場・生涯学習施設）

視察ツアー

令和3年度
内閣総理大臣賞
受賞施設

「百年の森林（もり）構想」で有名な岡山県西粟倉村の役場と図書館がひとつの「あわくら会館」として、新たに生まれ変わりました。村内事業者の連携により建築には村産材 97% 使用、施設内の木製家具・什器も村内事業者の手によるものです。1日目は、設計者であるアルセッド建築研究所の小口氏より建築の解説を聴くことができます。2日目には、西粟倉村の3つのチャレンジ「百年の森林（もり）事業」「再生可能エネルギー事業」「ローカルベンチャー事業」を体感していただきます。

村産材
97% 使用

©ウィブラフォト/浅田美浩

日時：2022年5月26日（木）～27日（金）

26日 13:00 現地集合 / 27日 17:00 現地解散

場所：岡山県英田郡西粟倉村大字影石 33 番地 1

定員：15名 ※定員に達し次第募集を締め切ります。

参加費：17,000円（視察先見学費&移動バス代）

協力：西粟倉村役場 総務企画課 / アルセッド建築研究所

※現地までの交通費、および宿泊費（湯の郷温泉郷にて）は各自にて負担、ご手配願います。

森林率 93% の村

あわくら会館の建設プロジェクトには、村内に育ってきた林産業関係の事業者の方々の協働による村産材の価値の最大化と、西粟倉独特の多様で自由な役場や村人の活動に相応しい場づくりという、2つのテーマがありました。これらのテーマについて実地に詳しく解説いたします。



百年の森林構想と3つのチャレンジ

今 50 年まで育ってきた森林を、次の世代に引き継ぎ 100 年の森林に育てるために、村と村内事業者が力を合わせ、森林資源を活用して地域経済を廻していく事業を進めています。その現場である「西粟倉森の学校」「村のバイオマス事業」「素材生産の現場」などを視察します。



Profile

小口 亮 アルセッド建築研究所

1992年東京大学大学院修士課程修了、アルセッド建築研究所入所。2010年から東京大学農学部非常勤講師。木造を中心に主に公共建築の建築設計・監理、コンサルタントおよび木造建築に関する研究開発等に従事。木造建築の実績は、林野庁森林技術総合研修所林業機械化センター（1996～2000）、宮崎県木材利用技術センター（2001）、千葉県木材市場木と住まいの情報館モクイチ（2002）、道の駅あいづ（2014）、柏木工高山ショールーム（2015）、屋久島町役場（2019）、あわくら会館（2021）等、特に近年は、地域材を製材として活用した中大規模木造に取り組む。2019年屋久島町庁舎で内閣総理大臣賞受賞、ウッドデザイン賞ほか受賞。2021年あわくら会館で内閣総理大臣賞受賞。

お申し込み | FAX: 03-3544-4450

御社名			
参加者1 (代表者)		参加者2	
TEL		FAX	
携帯電話 (代表者)		Email (代表者)	
住所	〒		

主催：Ikeda 株式会社イケダコーポレーション（担当：藤田 03-3544-4453）